



編集と発行  
城北コミュニティ文化協会  
丸亀市御供所町1-5-20  
城北コミュニティセンター「明倫」  
☎25-2141

人権標語の応募

ありがとうございます  
(優秀作品発表)

さる一月、校区の皆様から

応募いただきました人権標語

は、おかげさまで二十八点の

作品の応募がありました。三

月七日の明倫まつりで百十三

名の参観者の方が審査投票し

てくださり、その結果、投票

数上位十二の作品を選ばせて

いただきました。この作品の

数点は、城北コミュニティ主

催の行事の印刷物にも掲載さ

せていただきます。

以下がその作品です。  
最優秀賞 一点  
お隣さん 一声かけて  
みませんか  
風袋町 高木 明美  
優秀賞 二点  
見上げてごらん  
空には垣根がないよ  
風袋町 藤田 要  
悩んでないで相談しよう  
勇気をだして一人じゃないよ  
北平山町 皆本 敬子

佳 作 九点

思いやる言葉と言葉が  
生む笑顔  
葭 町 若松 和男

何気ない その一言に  
傷つく心  
葭 町 若松 幸代

楽しい家庭は人権の和から  
風袋町 関 清子

大切なのは みんなの夢と  
みんなの人権  
風袋町 藤田登茂子

陽だまりの 笑顔行き交う  
路地の中  
風袋町 高木 国広

思いやる言葉が育てる和の心  
土居町 詫間 貴裕

「ありがとう」やさしい絆の  
芽生えです  
富士見町 壬生 良子

「ありがとう」「こんにちわ」  
たった一言 差別解消の  
夜明け  
御供所町 竹田 早苗

城北小学校  
なかよしのつどい

さる一月三十日に、城北小

学校の体育館において、恒例

の人権集会「なかよしのつど

い」が開催されました。

体育館には「平和」や「世

界平和」と書かれた習字や人

権啓発のポスターなど児童の

力作が展示されていました。

土曜休日ということで、保

護者の参加人数が例年より多

く児童の発表を熱心に聞き入

っていた姿が印象的でした。

また、途中で行われたPT

A人権同和教育研修も参加者

が多かったのもよかったです  
と思いました。  
では、「なかよしのつどい」  
の概略を紹介します。  
●一年生は「できるよになつたよ」をテーマに、「仲間との協力」や「相手の気持ちを考えた話し方」など、一年間の学校生活で学んだことを全員が動作を交えて発表しました。  
●二年生は「みんなともだち

声かけて、かえってきた  
笑顔に また 笑顔  
御供所町 菅 ひろみ

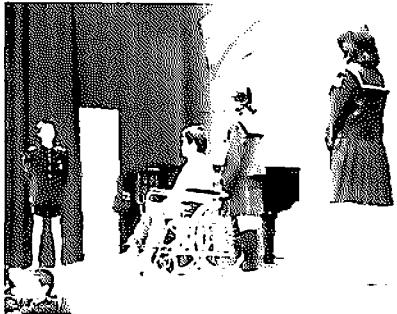
みんななかま」をテーマに、  
好ましい仲間づくりの方法や  
相手も自分も大切に話した話し  
方についての発表でした。

●三年生は「明倫の里コマ  
シャル大作戦」をテーマに、  
地域の施設等の聞き取り調査  
で分かったことや見つけたこ  
とを劇化しての発表でした。

●四年生は「なかよし大作戦」  
をテーマに土器川をみんな  
調べたことの発表でした。

●五年生は「住みよい町 私  
たちの城北校区」をテーマに  
住みよい町にするために頑  
張っている人の活動を劇化し  
て紹介した。

●六年生は「共生」「みんな  
幸せな町丸亀」をテーマに、  
社会的に弱い立場の人々から  
学び取ったことから、その人  
たちのために、自分ができる  
ことをまとめ、発表した。



なかよしのつどい

つどいに参加した児童や  
保護者の感想文  
一年生

一年生

たんぼぼ学きゅうのはつび  
ようで、しまいとたいこを  
とつてもがんばってしたんだ  
ということがつたわかりました。

六年生のうたもスクリーン  
にうつったしゃんとがいつ  
しよでとてもよかったです。

四年・五年生もちゃんと気も  
ちがつたわってきてとてもよ  
かったとおもいました。三年・  
二年生のげきもうたもよかつ  
たです。一年生みんなでもや  
つた「できるよになつたよ」

は、はつびようもうたもみん  
なに気もちがつたわるようが  
んばりました。がんばってす  
ると気もちがいいです。

二年生  
わたしは、学しゅう会や四  
年生のはつびようでさべつは  
ぜつたいにしてはいけないこ  
とがわかつたので、人のいや  
がることはぜつたいしません。

人をきずつけても、あいてが  
いやな気もちなることがわか  
りました。ほかの学年もほん  
とにじょうずにできていまし  
た。いけないことをして「こ  
めん」「ごめんね」というこ

わたくしは、学しゅう会や四  
年生のはつびようでさべつは  
ぜつたいにしてはいけないこ  
とがわかつたので、人のいや  
がることはぜつたいしません。

人をきずつけても、あいてが  
いやな気もちなることがわか  
りました。ほかの学年もほん  
とにじょうずにできていまし  
た。いけないことをして「こ  
めん」「ごめんね」というこ

わたくしは、学しゅう会や四  
年生のはつびようでさべつは  
ぜつたいにしてはいけないこ  
とがわかつたので、人のいや  
がることはぜつたいしません。

人をきずつけても、あいてが  
いやな気もちなることがわか  
りました。ほかの学年もほん  
とにじょうずにできていまし  
た。いけないことをして「こ  
めん」「ごめんね」というこ

わたくしは、学しゅう会や四  
年生のはつびようでさべつは  
ぜつたいにしてはいけないこ  
とがわかつたので、人のいや  
がることはぜつたいしません。

とばであやまることは、だいたいだということがわかりました。人を大切にすることがだいじなことだとなかよしのついででわかりました。それと、パトロールの人にきちんとあいさつすることもこのついででわかりました。また「ほくほくことば」や「クツションことば」がいえるようになりたいです。楽しかったよ。

「一人にやさしいことば」の意味「編集者補筆」  
三年生

私は、発表する時、とても胸がドキドキしました。声はでたと思う。がんばってできたのでうれしかったです。一年生や二年生を見てがんなばらなくちゃと思いました。手話をしながら歌うのは思ってたよりむずかしかったです。私は耳が聞こえない人にも歌を聞いてもらいたいです。また、さべつっていけないなと思いました。自分は人をさべつっていかないかなって思いました。今日はどんなにさべつされていて悲しい人がいるかを知りました。そして五年生の発表では、人のためにすることだと思えました。私も

こまっている人がいたら助けてあげたいです。そして悪いことをしてしまったら、すなおに「ごめんね」といえる人になりたいと思いました。今日はお母さんやお父さんやたくさんの方が来てくれてとてもうれしかったです。

四年生  
今日、「なかよしのつどい」がありました。四年生の番が来たとき、とてもさんちょうしたけれど、大きな声で言えたのでよかったです。学習会に参加している人の発表を見て、その町に住んでいるだけで差別されるなんておかしいと思いました。だから自分たちで差別をなくしていこうと思えました。他の学年の発表をみて、工夫していることがいっぱいありました。六年生は（劇に使用した）自動販売機の（小道具）、五年生は（劇の背景に使うため）大きな紙にお城を描いたりしています。ごいなあと思えました。

私は、五年生になっても、六年生になっても「なかよしのつどい」をがんばろうと思えました。（）は編集者補筆  
五年生  
一番に残ったのは六年生

の発表です。ハンセン病で差別された人、住んでいる所で差別された人、体のどこかが不自由な人の気持ちを考えていて、そんな苦しい思いをしてきたことが分かっていていか、げきでえんじている時は必死にしているように見えすぎいなどおもいました。

また、体の不自由な人は過去のことは気にせず、今を精いっぱい生きていることを私も見習いたいです。私はげきで女王様役だったので、すぐくさんちようしました。言葉をまちがえずに言えたのでよかったですと思いました。歌も大きな声で歌えました。みんなで合せて言うところも、そろえて言えてよかったです。

なかよしのつどいが終わりに帰ってくるのとくさんの人からほめられました。歌の練習、げきの練習、セリフを覚えるのも全部たいへんだったけど、本番で全部出しきれてよかったです。  
六年生  
今回で最後の「なかよしのつどい」でした。あまり緊張せず、練習どおり発表できました。六年間、人を大切にすることを勉強ができ、とても良かったです。

たです。世の中にはさまざまなたです。世の中にはさまざまな人がいて、たくさんのおんごをがんばっていることを知ったり、たくさん差別があることも知りました。ほんの少しの言葉だけでも、相手にとってはつらいことになることや、だれの心の中にも差別する心があることを知ったときはつらかったです。私の心の中にも差別する心があるんだなあと思いました。

でも、その心は弱い心です。その心は出してはいけないのです。これまで勉強してきたたくさんのおんごをこれから先もずっと忘れずいろうんな人に伝えていきたいです。低学年のころ、なんでこんなことせなあかんのやろうと思っていました。でも今になってみればすごい良い学習をしたと思っています。そんな学習をしてこれて、本当に良かったです。

保護者  
今年土曜日だったので六年間はじめてゆっくり見る事ができました。ゆっくり見る事ができたからか、今までで一番良かったように思い、感動しました。六年間「なかよしのつどい」できてきたことを忘れず成長して欲しいです。

## 人権コラム

電子黒板も、とても良かったです。一人一人の顔写真が出たときは涙が出てきました。お父さんも初めて見る事ができ「勉強になった」と言っていました。（後略）

「人にやさしい」という言葉を考えた人はすばらしいと思います。人にやさしいか、そうでないかによって人権が尊重されているか、どうか判断できる分かります。言葉であるからです。さあ、私たちの身の周りを人にやさしいか、どうかの目でながめてみましょう。

「携帯電話を掛けながら自動車を運転している行為は？」  
「いつもお互いに明るい挨拶ができる近所付き合いは？」  
「悪口やのしる言葉は？」  
「でこぼこの歩道は？」  
「階段の外にスロープがある病院の入り口は？」  
「一人暮らしの高齢者を地域で見守る事は？」  
人にやさしいことが、あちらこちらで見ることのできる私たちの地域で、ありたいものです。

（託問記）